

2 安全・安心に対する消費者からの強い期待

安全・安心な畜産物生産の推進

課題

- 食品の安全に関する事件・事故が相次いだことから、畜産物についての不安が高まっており、安全・安心な畜産物生産が強く求められています。

対応

- 安全・安心な畜産物を供給するため、適正な家畜の飼養管理技術を普及します。
- 家畜の飼料に使用される抗生物質^{※54}の低減技術の研究を行います。
- 安全確保のための調査・検査をよりの確に行う衛生管理手法^{※55}の生産段階への導入を促進します。
- 安心でおいしい畜産物を提供する畜産農家集団を育成していきます。

安全・安心のためのコミュニケーション強化

課題

- 国内でのBSE^{※56}や高病原性鳥インフルエンザ^{※57}の発生等の恐れがある中、生産の現場と都民の間の距離と意識に隔たりがあり、これらの疾病等について消費者が正しく理解する機会が不足しています。そこで、双方向性があるコミュニケーションが求められています。

対応

- 消費者が飼育作業から流通過程・販売まで確認できる、畜産物の生産情報管理システム^{※58}の構築を促進します。
- 東京農業Webサイトを充実し、東京産畜産物の入手方法、都内で行われる畜産関連のイベント等の情報を発信します。
- 家畜の飼料原料の由来や畜産物への抗生物質の使用などに対する都民の不安を解消するため、積極的な情報提供を促進していきます。
- より安全で安心な畜産物を提供するため、生産者から消費者への一方的な安全情報の提供にとどまらず、消費者の意見をフィードバックさせるなど、関係者相互間の情報・意見交換の場をつくりま

人獣共通感染症に対する取組の強化

課題

- 高病原性鳥インフルエンザ等人獣共通感染症が、世界的に広がっています。このため、ウィルスの侵入警戒、防疫体制などの強化が求められています。

対応

- 都民の健康と安全な畜産物の安定供給確保のため、BSEや高病原性鳥インフルエンザ等の家畜の伝染病の発生防止に努めます。
- 家畜の急性伝染病^{※59} や人獣共通感染症等に対する危機管理、事前対応、監視体制の整備・強化を図ります。
- サルモネラ^{※60} 等畜産物を介して人に感染する恐れのある病原体の生産現場での清浄化を推進・指導を強化します。